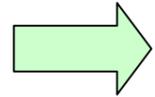


# 資料 1 東京芸術文化評議会の設置理由・特徴・役割

## 1 評議会設置の必要性

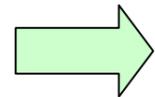
### 東京の文化的特徴

様々な文化施設が多数集積  
多彩な文化活動が様々な主体により展開  
芸術文化に関わる人材が集積  
創造的産業の集積



世界の都市の中でトップクラス  
大きな潜在能力を持っている

東京はアジアのどの都市にも負けない大きな文化的潜在能力を持っているが、世界に向けた文化の発信力が弱い。



他のアジアの諸都市は戦略的文化政策を展開

我が国が世界に誇る当代切っの第一人者であり、かつ現役で活躍している専門家を集め、東京の芸術文化振興を総合的かつ効果的に推進する

東京芸術文化評議会の設置

## 2 評議会の特徴

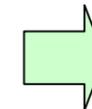
知事の諮問に応じるほか、評議会が東京の文化振興に必要と認める事項について時代を先取りした政策を提言

知事は提言を尊重

## 3 期待される役割

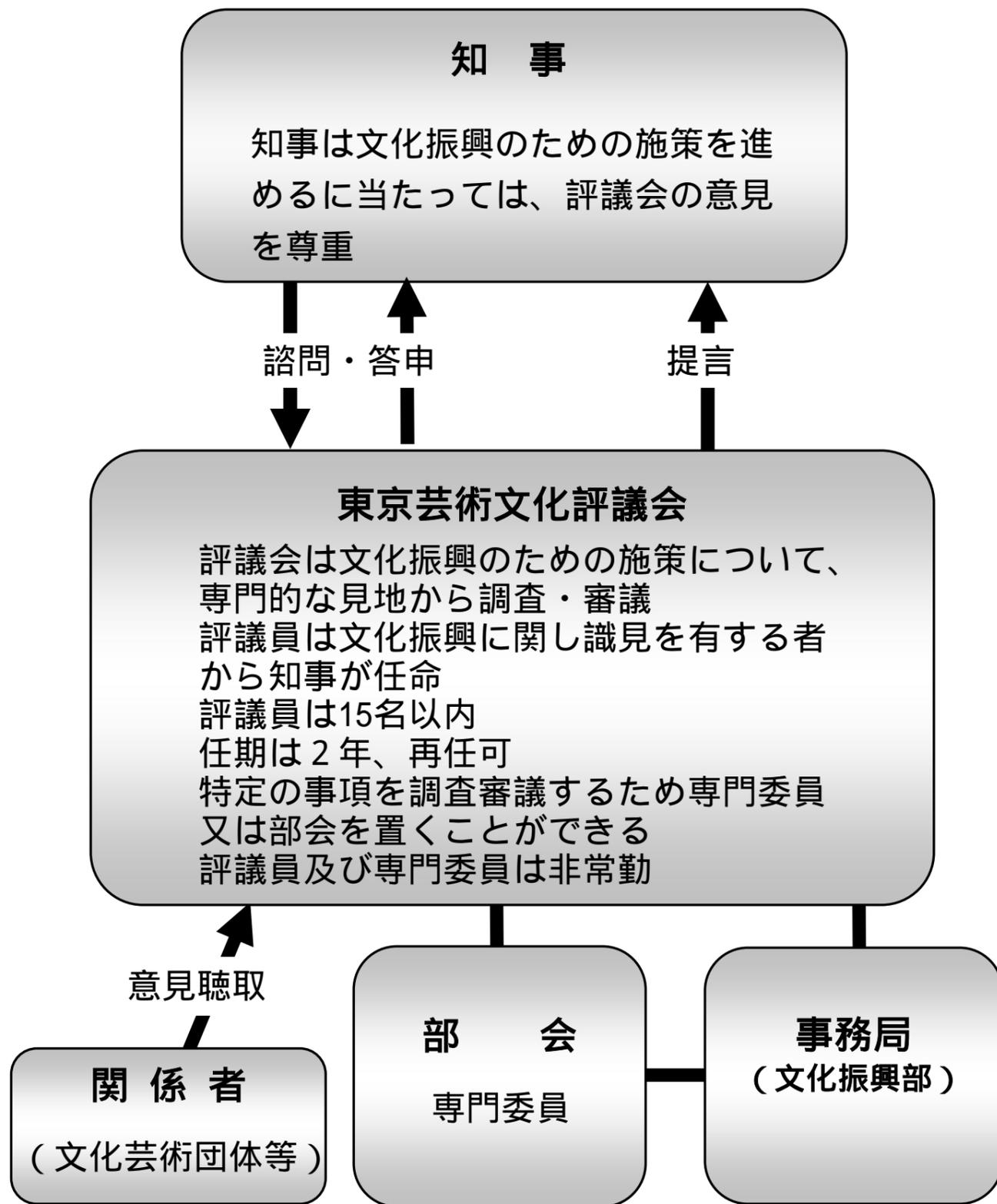
東京が活力ある都市として持続的に発展するために、専門的見地から、世界を視野に入れた文化戦略を提言

世界で活躍している見地から、様々な都市との国際交流戦略を提言

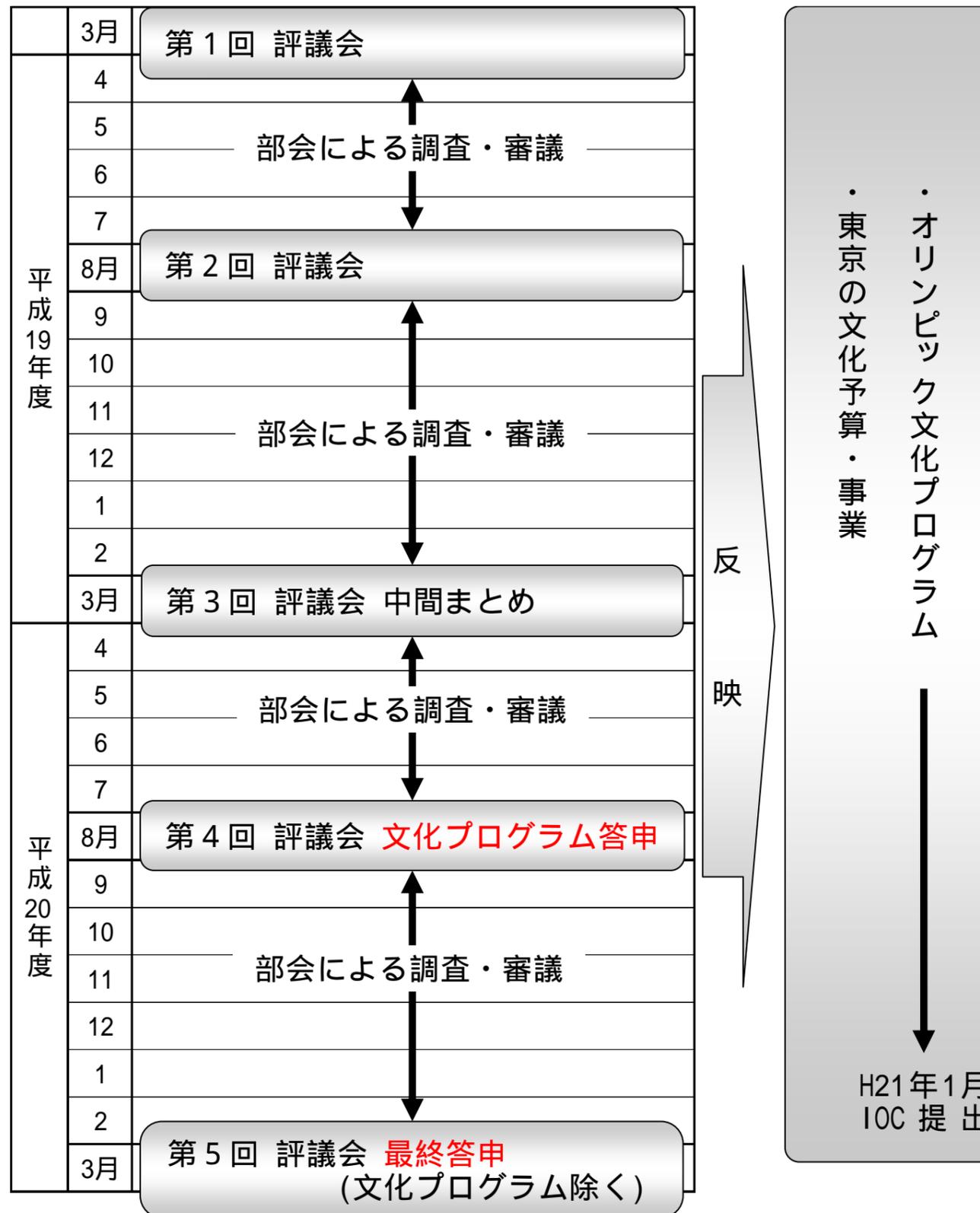


世界における  
文化面でのプレゼンスを確立

評議会のスキーム



今後のスケジュール



## 資料2 東京都の文化政策

芸術文化は、人々に楽しさや感動、精神的な安らぎや生きる喜びをもたらすだけでなく、豊かな人間性をつちかし、創造性をはぐくみます。また、文化の持つ力は、他者との協働を通じて、地域社会全体を活性化させ、魅力ある地域づくりに貢献します。

東京には、江戸時代以来の歴史と伝統を受け継ぐ貴重な文化遺産の蓄積があります。また、芸術家をはじめ創造活動にかかわる人々が多く集まり、伝統芸能からメディア芸術まで日々新たな芸術文化が生まれています。

こうした文化資源を顕在化させ、さらに活性化させるため、東京都は、次の3つの視点から文化振興に取り組んでいます。

- ・ 東京のまちの活性化をめざし、アーティストの創造活動を支援
- ・ 多様な文化資源の蓄積を活かして、東京の魅力を世界に向けて発信
- ・ 従来の枠組みにとらわれない手法によって文化事業を根本から改革

### 1 アーティストの活動支援

新進・若手アーティストに、制作・交流・発表の場を提供

- ・ トーキョーワンダーウォール
- ・ トーキョーワンダーサイト
- ・ 都の遊休施設を練習場として開放

東京の街そのものを芸術文化創造の場として開放  
(規制緩和)

- ・ ストリートペインティング
- ・ ヘブンアーティスト

芸術活動への助成

- ・ 芸術文化発信事業助成

アーティスト総合支援サイト

- ・ トーキョー・アート・ナビゲーション

### 2 東京からの文化の発信

芸術文化の創造・発信

- ・ 子どもたちの感性を磨く参加・体験事業
- ・ 都民芸術フェスティバル
- ・ 東京国際アニメフェア
- ・ アジア舞台芸術祭
- ・ 東京のオペラの森
- ・ 東京国際映画祭、  
ショートショートフィルムフェスティバルアジア
- ・ 東京ロケーションボックス  
観光・産業・まちづくりとの連携

### 3 魅力的な文化施設の運営

民間の経営感覚による文化施設改革

- ・ 東京都写真美術館、現代美術館、東京文化会館
- ・ 東京国際フォーラム

## 資料2-1 アーティストの活動支援

### トーキョーワンダーウォール

全国の若手アーティストを対象として公募展を行い、才能あるアーティストを発掘し、都庁舎壁面を活用した展示や、東京都現代美術館での展覧会など、作品発表の機会を提供しています。

入選者の海外進出のチャンスを広げるために公募展に海外審査員を登用するなど、より一層のステップアップを支援しています。

平成12年応募者:191名 平成18年応募者:1,017名



トーキョーワンダーウォール(展示風景)



トーキョーワンダーウォール公募2005 授賞式

### トーキョーワンダーサイト

国内外の若手アーティストに対し活躍の場を提供し、東京に新たなアートの生まれる活動基盤を整備しています。近來にない実験的な試みを進め、アジアに、ひいては世界に通じる国際的な文化発信基地として充実を図っています。

作品の制作の場：トーキョーワンダーサイト本郷

作品発表の場：トーキョーワンダーサイト渋谷

滞在・交流の場：トーキョーワンダーサイト青山クリエイター・イン・レジデンス



TWS青山(ラウンジ)



ワンダーシード展(TWS渋谷)

### ヘブンアーティスト・ストリートペインティング

#### ヘブンアーティスト

公共空間を都が審査によって登録したアーティストに開放することで、「街のなかにある劇場」として、都民が気軽に芸術文化に触れる機会を提供するとともに、アーティストの創造活動を支援しています。

ヘブンアーティスト認定者数:283組(H19.2月現在)

活動場所:48施設、61ヶ所(H19.2月現在)

イベント例:ヘブンアーティストTOKYO

実施日 平成18年10月27日(金)~29日(日)

場 所 上野恩賜公園 観覧者 延べ32万人



ヘブンアーティスト



ストリートペインティング

#### ストリートペインティング

東京の持つコンテンポラリーアートの世界への発信と、パブリックアートを推進するため、ワンダーウォール入選者等の実績のあるアーティストの中から審査会で選定した者に、公共施設を作品制作・発表の場として提供しています。

## 芸術文化発信事業助成

東京を代表する質の高い芸術活動や、次代を担う若手アーティストによる東京発の芸術活動に助成するとともに、国際的な交流を通じて、東京の芸術文化の魅力を世界に発信する創造活動を支援しています。

### 平成18年度実績

助成金総額 19,600千円  
 助成事業数 16件(1件当たり平均1,200千円)  
 助成分野 音楽、演劇、舞踊、美術、映像

## 創造活動支援事業（東京芸術劇場）

芸術文化の新たな創造を目指す芸術文化団体に対して、演劇、舞踊等の舞台芸術の公演に要する費用を助成しています。

### 平成18年度実績

助成金総額 10,000千円  
 助成事業数 12件(1件当たり平均800千円)  
 助成分野 演劇、舞踊

## トーキョー・アート・ナビゲーション

新進・若手アーティストの創造活動を支援するため、制作の場や支援施策に関する情報を提供するとともに、都民が気軽に芸術文化を楽しむことができるよう、作品の画像情報や民間の活動も含めた幅広い情報を提供する、東京の芸術文化総合サイトを運営します。

### 〔主な機能〕

- バーチャル見本市
- アーティストが投稿する作品情報等を掲載
- デジタルミュージアム機能
- 都立文化施設の収蔵品を画像で掲載し広く内外に公開
- 創作活動サポート機能
- 助成金・コンテスト情報、稽古場情報等を掲載



## 資料 2 - 2 東京からの文化の発信（芸術文化の創造・発信）

子どもたちの感性を磨く参加・体験事業の実施、学校教育への支援

都立文化施設を拠点とした参加体験型のワークショップ等の実施など、区市町村や周辺地域と連携し多摩地域を含めた多くの地域で、子どもたちが様々なジャンルの芸術家と直接触れ合う機会をつくります。

参加・体験型プログラム助成（19年度予算：35,000千円）

- ・子どもたちと芸術家の出あう街2006（オーケストラ中心）東京芸術劇場
- ・子ども芸能体験広場（伝統芸能中心）清瀬市民センター
- ・参加・体験・感動！ふれあい子どもまつり（児童演劇中心）江戸東京博物館 外
- ・こども能チャレンジ 東京芸術劇場



こども能チャレンジ



マエストロ・ビジット（東京都交響楽団）

美術館からアーティストや学芸員を学校に派遣して行う体験型プログラムなどのエデュケーションプログラムや、音楽家による学校訪問などのアウトリーチを推進していきます。

### 都民芸術フェスティバル

音楽、演劇、舞踊、伝統芸能の各分野で活動する芸術文化団体等の優れた公演に助成し、舞台芸術のフェスティバルを開催しています。

18年度助成対象公演

- ・オペラ・交響楽・現代演劇・バレエ・現代舞踊・邦楽・日本舞踊・能楽
  - ・民俗芸能・寄席 約70公演
- 18年度助成予算 141,095千円



都民芸術フェスティバル  
（オペラ「ラ・ボエーム」）



能楽公演

### 東京国際アニメフェア

東京国際アニメフェアは、毎年春、東京ビッグサイトにおいて開催される、世界最大級のアニメ総合見本市です。

アニメ関連各社がブースを構える『見本市』、華やかなステージやシアター上映・展示を行う『イベント』、優秀なアニメ作品を表彰する『東京アニメアワード』など、毎年盛りだくさんの内容で、世界中から注目を集めています。

『東京国際アニメフェア2006』開催概要  
 開催日 2006年3月23日（木）～3月26日（日）  
 会場 ビッグサイト東1・2・3ホール他  
 主催 東京国際アニメフェア実行委員会  
 来場者 約10万人



東京国際アニメフェア

## アジア舞台芸術祭

東京の文化の魅力を海外に発信し、「千客万来の世界都市・東京」をアピールするため、「アジア大都市ネットワーク21」の共同事業の一つである舞台芸術祭を通じて、アジア諸都市の相互理解と舞台芸術の振興・文化交流などの促進を図ります。

### 参加都市

デリー、ハノイ、クアラルンプール、マニラ、ソウル、台北、東京(幹事)  
第4回は台北開催(平成18年11月29日～12月3日)



アジア舞台芸術祭



アジア舞台芸術祭

## 東京のオペラの森

東京のオペラの森は、「東京で世界へ発信できるオペラを創る。東京で初演された舞台が、世界の都市で、磨かれ、あるいは変容していく、それを民間の力で実現する。」という新しい発想から誕生した事業です。

### [コンセプト]

～東京から世界へ発信する新たなオペラが誕生～

### 平成18年度実績

日時 平成19年3月15日～4月4日

オペラ公演3回、コンサート公演2回

会場 東京文化会館、すみだトリフォニーホール

主催 東京のオペラの森実行委員会

音楽監督 小澤征爾氏



東京のオペラの森

## 東京国際映画祭、ショートショート フィルムフェスティバル アジア

都では、東京における映像文化の発展、映像を通じた国際的な芸術文化交流の振興及び映像文化の新たな魅力の発信、若手映像制作者の育成などを目的として、国際的な映画祭を共催しています。

### 東京国際映画祭(平成18年度実績)

会期 平成18年10月21日(土)～29日(日)

会場 渋谷、六本木地区

上映 343本 総入場者数 30万人

主催 東京国際映画祭実行委員会  
(財)日本映像国際振興協会  
都はコンペティション部門を共催

### ショートショート フィルムフェスティバル アジア (平成18年度実績)

会期 平成18年6月7日(金)～10日(日)

会場 原宿アストロホール

上映 41本 総入場者数 970人

主催 SSFFA実行委員会



ショートショートフィルムフェスティバルアジア



東京国際映画祭

## 東京ロケーションボックス

撮影許可等に関する総合窓口を運営することにより、東京を舞台とした映画やテレビドラマ等の撮影を支援し、映像産業の振興とともに、映像を通して東京の魅力の発信を図っています。

事業開始 平成13年4月20日  
平成17年度実績 受付件数 4,003件  
撮影許可 193件



首都大学東京での撮影風景



都庁第一庁舎での撮影風景

## 文化芸術に触れる多様な機会の提供

都民が文化芸術に親しみや楽しみを感じるよう、質の高い芸術文化を都民に広く廉価で提供しています。また、区市町村と連携しながら、都心に比べて鑑賞機会の少ない多摩地域などでクラシックコンサートを実施しています。



ティータイムコンサート  
(東京都交響楽団、東京文化会館)



フレッシュ名曲コンサート  
(東京都歴史文化財団&区市町村)

## 島しょ地域の住民に文化芸術の鑑賞機会を提供

演劇やクラシックコンサートなど、文化芸術に親しむ機会の少ない島しょ地域の住民に、劇団や芸術家を派遣し、舞台芸術の鑑賞機会を提供しています。

今後も、地域の要望を取り入れ、町村と連携しながら、ヘブナーアーティストの派遣など多様な機会の提供に努めます。

平成16年度より、対象を子どもから全島民に拡大



児童演劇 小笠原公演



クラシック 利島村公演

## 資料 2 - 3 東京からの文化の発信（まちづくりとの連携）

### まちづくりとの連携（その1）

東京の歴史と文化を今日に伝える貴重な歴史的建造物を選定・保存し、風格と魅力ある景観を形成します。

都選定歴史的建造物

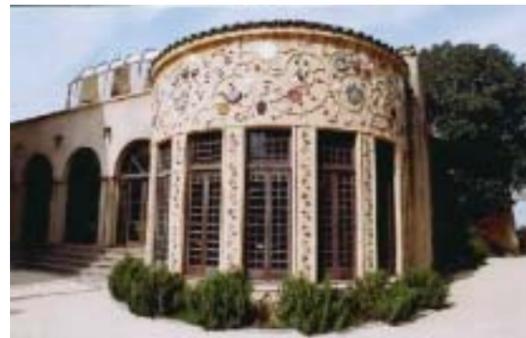
歴史的価値を有する建造物のうち、景観上重要であるとして、東京都景観審議会の答申と所有者の同意を得て都が選定（平成18年3月末日現在 73件を選定）

保存に関する工事費の2分の1を予算の範囲内で助成

景観上重要な歴史的建造物等

その他歴史的建造物（文化財など）等のうち特に景観上重要なものとして東京都景観審議会の答申を得て都が定めたもの（平成18年3月末日現在 29件を指定）

都選定歴史的建造物



旧小笠原邸



高島屋東京店



旧岩崎邸庭園



ニコライ堂

景観上重要な歴史的建造物等

### まちづくりとの連携（その2）

産業、観光とともに文化の特性を活かし、業務・商業・居住・文化など多様な魅力を持つ拠点を整備するなど、個性豊かで魅力的な都市空間の形成を図ります。

地域連携型モデル商店街事業

商店街が、地域住民やNPO等の地域団体と協議会を設置し、環境、福祉、観光振興等の地域ニーズを踏まえ、区市町村とも連携して地域の再生やまちづくりと商店街の活性化に取り組む事業を支援します。

対象事業：モデル指定を受けた商店街が事業計画に基づいて実施する施設整備、ソフト事業、イベント事業

補助率等：2 / 5（補助限度額1億円）



伝法院通り江戸まちづくり景観整備事業

商店街を江戸まち風にし、浅草らしい魅力あるまちなみを整備。店先を、瓦葺に板張りや白壁風の外装、のれん風の日よけ木製の看板で飾り、通りには大八車や雨水桶などを設置し、江戸のまちなみを演出。浅草地域全体の回遊性を高め、地域の活性化を目指している。

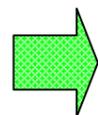
## まちづくりとの連携（その3）

歴史や文化の継承と新たな魅力の創出により都市の価値を向上させ、成熟した都市にふさわしい風格と活力を備えた首都東京の実現を目指します。そのために、東京都景観審議会の答申も踏まえ、東京都景観計画を策定します。

### 文化財庭園等景観形成特別地区

浜離宮恩賜庭園等の文化財庭園等の周辺を「文化財庭園等景観形成特別地区」に指定し、庭園そのものの景観とともに、庭園内部からの眺望を意識し、その周辺における建築物の外壁の色彩や隣棟間隔、屋外広告物の表示などについて、適切に規制・誘導を行っていきます。

色彩など建築物の誘導と広告物の規制を一体的に行う



#### 先行的指定地区



浜離宮恩賜庭園



旧芝離宮恩賜庭園



清澄庭園

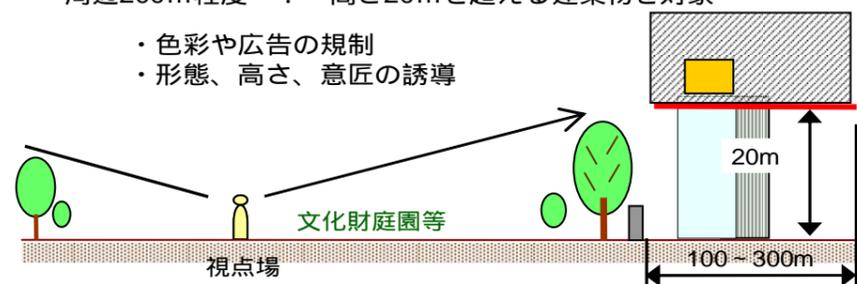


新宿御苑

#### 文化財庭園等周辺

周辺200m程度：高さ20mを超える建築物を対象

- ・色彩や広告の規制
- ・形態、高さ、意匠の誘導



#### 屋上広告物の禁止



既存不適格広告物の設置は一定期間に限定

### 水辺景観形成特別地区

海域と陸域の双方からの眺望に優れ、誰もが水辺や緑を楽しむことができる、国際的にも注目されるような「水の都」を形成します。

特に重点的な取組が必要な地区を「水辺景観形成特別地区」として指定し、観光施策等と連携して、水辺空間の魅力向上を進めていきます。



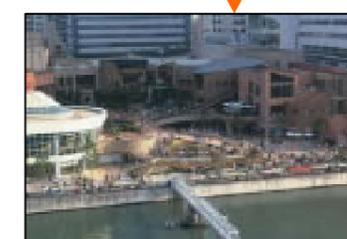
壁面広告物の規制  
赤・黄色の光、光の点滅を禁止

(既存不適格広告物の設置は一定期間に限定)

#### 水辺景観形成特別地区



#### 水辺を生かした景観形成



水域に顔を向けた開発



水辺に沿ったオープンスペース



水辺と一体的な緑地

## 資料 2 - 4 魅力的な都立文化施設の運営

### 東京都現代美術館 ～現代美術を幅広く演出～

約3,900点の収蔵作品を生かした現代美術の流れを活かした現代美術の流れを展望できる常設展示

絵画、彫刻、ファッション、建築、デザイン等幅広く現代美術に関する展覧会を開催

美術図書室の運営や、各種講座等の実施により、美術に関する情報提供や普及活動を行う

平成17年観覧者数:386,434人



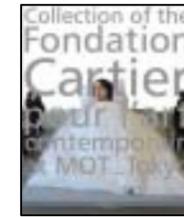
ロイ・リキテンスタイン  
「ヘアリボンの少女」



教育普及プログラム



美術図書



### 東京都写真美術館 ～日本で唯一の写真・映像の総合博物館～

都民に様々な作品を鑑賞してもらおうと同時に写真の多様性と可能性をアピール

体験学習・セミナー・スクールプログラム等を通して、都民や児童・生徒に写真・映像の原理や歴史を学んでもらう

ホールでのロードショー上映や写真・映像の専門図書室を設け、広く活用される開かれた施設を目指す



ホール



図書室



細江英公「薔薇刑」



奈良原一高  
「インディアン村の二つのごみ缶」



暗室体験！  
写真をプリントしてみよう

民間経営者のマネジメントにより、  
6年間で観覧者倍増・経費半減！

平成17年観覧者数:441,705人

### 東京都美術館 ～大正15年の創設以来の公募展～

油絵・日本画・彫塑・書等の美術団体の公募展会場として親しまれる

新聞社等との共催による展覧会を開催



アトリエを都民のアマチュア美術サークルに、講堂を美術関係の講演会等に提供



アトリエ



講堂



平成17年観覧者数:2,691,583人

江戸東京博物館 ～江戸から東京への400年をユニークに演出～



常設展

常設展

約9,000㎡の大きな展示室を活かし、綿密な調査研究を踏まえて実物大に復元した大型模型などを展示

企画展

江戸東京の歴史と文化に関するテーマを中心に、一階の企画展示室で展覧会を年に4回から5回開催

その他

歴史セミナー・体験講座の実施、図書室・映像ライブラリーなどの施設開放



体験セミナー



新撰組展

平成17年観覧者数:1,190,458人

江戸東京たてもの園 ～緑の中の懐かしい建物が歴史と文化を伝える～



都立小金井公園の中に位置する野外博物館

現地保存が不可能な文化的価値の高い歴史的建造物を移築し、復元・保存・展示するとともに、貴重な文化遺産として次代に継承

タイムリーな特別展の開催や、季節ごとのイベントなど多彩な催しを実施



ビクターセンター(旧光華殿)



子宝湯



下町夕涼み



体験!発見!職人さん

平成17年観覧者数:265,528人

東京都庭園美術館 ～アール・デコ装飾を現在に伝える～

建物自体が美術館

- ・ フランス人デザイナーが主要部分を設計し、内装の一部は宮内の建築家が担当し、アール・デコ様式に日本独特の感性を付加
- ・ 朝香宮邸として建てられ、首相公邸や国の迎賓館などに使用
- ・ 1993(平成5)年、東京都指定有形文化財に指定

緑あふれる広大な庭園を公開し、憩いの場を提供

絵画・彫刻・工芸など様々な分野の展覧会を開催



大客室から次室を望む



茶室



レストラン茶酒

平成17年観覧者数:214,813人

東京文化会館 ～次世代の輝きと可能性を感じ育てる～

コンサートやオペラ、バレエなど、様々な音楽・舞台芸術の場として、多くの人々に親しまれるホール自らの創造力を高める事業を展開

【東京音楽コンクール】新進音楽家のコンクールを実施し、入賞者のリサイタルを開催

【夏休み子ども音楽会】子どもたちにフルオーケストラの本物の迫力を感じてもらおう

音楽資料室を運営し、楽譜・図書・CD・映像資料等の閲覧・視聴サービスを提供



音楽資料室



大ホール



小ホール



東京芸術劇場 ～芸術文化の振興と国際交流を図る～

世界最大級のパイプオルガンが設置された、オーケストラの演奏を中心とするコンサート専用の大ホール

本格的な演劇・ミュージカルやダンスを楽しめる中ホール、ステージを自在に調節できる小ホール



大ホール



パイプオルガン



中ホール



小ホール

各ホールの特色を活かした自主事業

【現代舞台芸術セレクション】

活発な公演活動を行っている芸術文化団体の優れた作品を紹介

【ミュージカル月間】

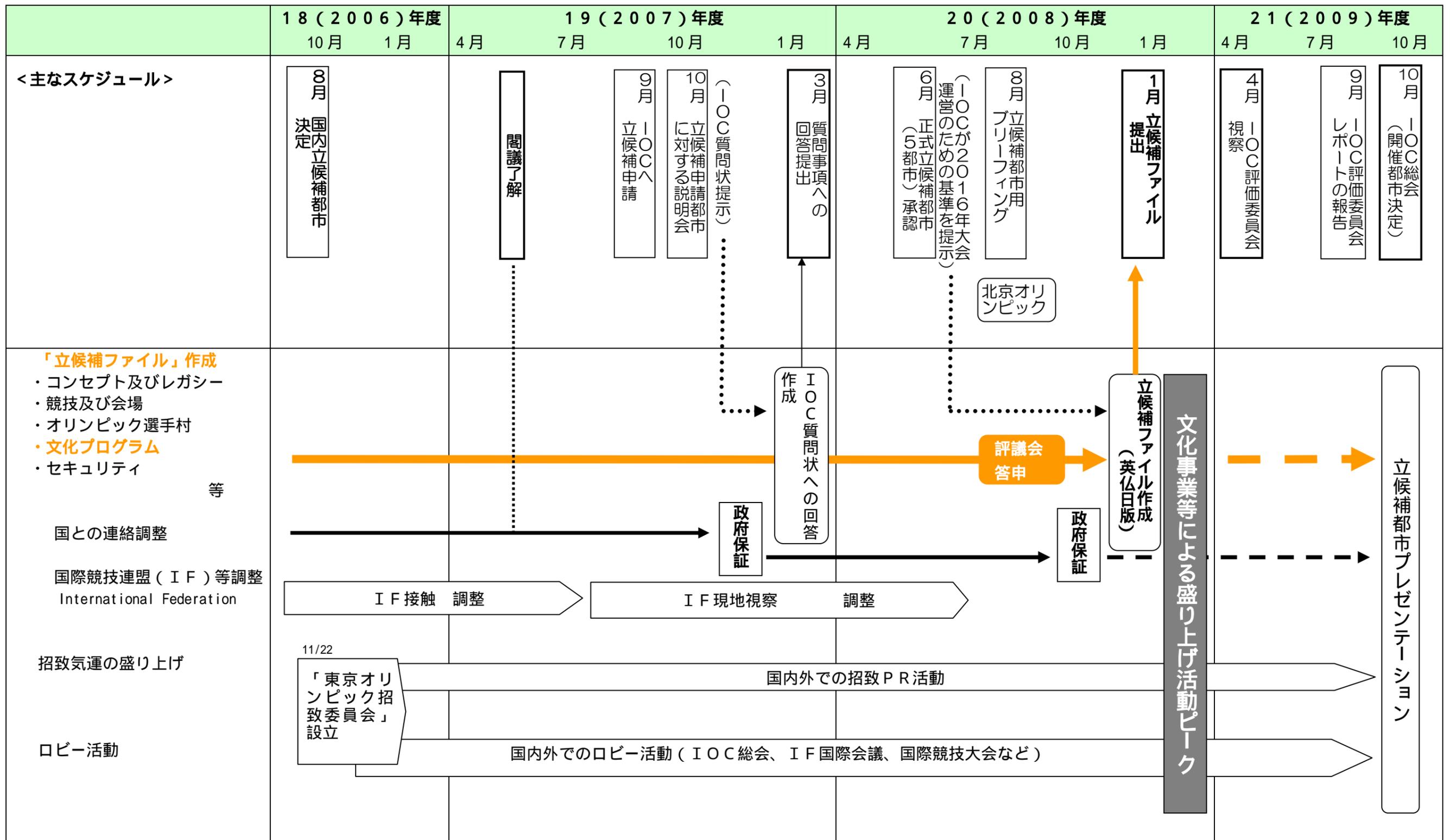
毎年2月を「東京芸術劇場ミュージカル月間」とし、優れた作品を低廉な料金で都民に提供。優れた作品を表彰し、賞金も贈呈。



# 資料3 東京都における文化振興施策等の変遷

時 期	事 業 等	新 規 開 設 施 設	執 行 体 制	政 策	時 期
	都民芸術フェスティバル(昭和43年～)	東京府美術館(大正15年) 東京文化会館(昭和36年) 東京都美術館(昭和50年:東京府美術館を建替)	教育庁社会教育部の設置(昭和24年) (財)東京都交響楽団の設立(昭和40年)	教育行政の一環としての文化行政 地方教育行政の組織及び運営に関する法律、社会教育法、文化財保護法に基づく文化行政	
昭和54年	↓			鈴木都知事就任 東京都長期計画「マイタウン東京」発表	昭和54年
昭和55年	東京都独自の文化行政の誕生 ←		生活文化局の設置 (コミュニティ文化部、国際交流部)	東京都文化懇談会 設置	昭和55年
昭和56年	文化のデザイン事業実施計画の発表		(財)東京都文化振興会の設立	東京都文化懇談会 設置	昭和56年
昭和57年	文化に関する顕彰制度の制定、ふるさと東京まつり(～平成10年)			東京都文化振興条例 制定	昭和57年
昭和58年	歴史と文化の散歩道の選定	東京都庭園美術館		第2次 東京都文化懇談会	昭和58年
昭和59年				第3次 東京都文化懇談会	昭和59年
昭和60年				東京ルネッサンス推進委員会 設置	昭和60年
昭和61年				第4次 東京都文化懇談会	昭和61年
昭和63年	東京都国際平和文化交流基金の設置 東京ルネッサンス事業の展開(～平成8年)			第5次 東京都文化懇談会	昭和63年
平成元年	世界都市博覧会基本構想の策定			第6次 東京都文化懇談会	平成元年
平成2年		東京芸術劇場	(財)江戸東京歴史財団の設立	第7次 東京都文化懇談会	平成2年
平成3年					平成3年
平成5年		東京都江戸東京博物館、江戸東京たてもの園			平成5年
平成6年			(財)東京国際交流財団の設立		平成6年
平成7年		東京都現代美術館、東京都写真美術館			平成7年
平成8年	世界都市博覧会の中止を決定		(財)東京都歴史文化財団の設立 (東京都文化振興会、江戸東京歴史財団の統合)	青島都知事就任 財政健全化計画 発表	平成8年
平成9年	シルバーエイジ芸術鑑賞事業(～平成13年)	東京国際フォーラム		第8次 東京都文化懇談会	平成9年
平成10年				文化都市ビジョン 策定	平成10年
平成11年	東京都文化懇談会の休止(平成13年廃止)				平成11年
平成12年	大規模施設の新規建設凍結を決定 文化に関する顕彰制度の休止 トーキョーワンダーウォール事業開始 美術館などの館長に民間企業経営者を起用 (写真美術館館長に徳間康快氏起用)			石原都知事就任 財政再建推進プラン 東京構想2000 発表 アジア大都市ネットワーク共同宣言 当面の東京都文化政策手法の転換と取組	平成12年
平成13年	東京ロケーションボックス開設	トーキョーワンダーサイト本郷	生活文化局文化振興部の設置 (コミュニティ文化部、国際部の廃止)		平成13年
平成14年	文化行政の一元化 ヘブンアーティスト事業開始、アジア舞台芸術祭開催(東京) アートインデックス開設		教育庁所管施設を生活文化局へ移管		平成14年
平成15年	江戸開府400年事業の実施 国際平和文化交流基金の廃止、東京国際フォーラムの民営化 芸術文化国際交流事業助成の開始		(株)東京国際フォーラムの設立 (東京国際交流財団の廃止)		平成15年
平成16年	ストリートペインティング事業、参加体験プログラムの開始 ショートショートフィルムフェスティバル アジア の開催		東京国際フォーラムを産業労働局へ移管		平成16年
平成17年	東京のオペラの森の開催	トーキョーワンダーサイト渋谷		東京都の文化施策を語る会 設置	平成17年
平成18年	文化施設の管理運営に指定管理者制度を導入 歴文財団を特命	トーキョーワンダーサイト青山	(財)東京都交響楽団を教育庁から生活文化局へ移管	東京都の文化施策を語る会 東京都への提言 東京都文化振興指針 策定	平成18年
平成19年				東京芸術文化評議会設置	平成19年

# 資料4 東京オリンピック招致と文化プログラムに関するスケジュール



## 資料4 - 1 開催都市の文化プログラム

### 2012年 ロンドン

#### テーマ

##### 革新と感動

- ・まばゆいほどの祭典と申し分ない舞台
- ・若さと世界文化をたたえる世界文化の中心
- ・活発な教育を通じてオリンピック精神を浸透

##### 主な文化プロジェクト

- ・公園や広場での催し（生演奏、喜劇、花火）
- ・世界の若者の文化フェスティバル
- ・世界文化博覧会（コンサート、展覧会）

##### 主な若者向けプログラム

- ・オリンピックフレンドシップ号（大洋航海の高速船）による航海  
北京大会終了直後から航海が開始され、オリンピック教育プログラムを展開している世界をツアーで巡る。
- ・ユース・キャンプ  
ユース・キャンプは、会期中にロンドン港に停泊する「オリンピックフレンドシップ号」内で実施される。



### 2008年 北京

#### テーマ

##### 社会的・経済的成長と持続可能な発展の調和

##### 主な文化プロジェクト

- ・世界的文化遺産での野外公演（万里の長城等）
- ・国際スポーツ映画祭、国際音楽演劇祭
- ・民族芸能公演、花車パレード

##### 主な若者向けプログラム

- ・ユース・キャンプ
- ・聖火リレーへの参加、競技観戦、観光等

### 2004年 アテネ

#### テーマ

<2001年>人と空間 <2002年>人と陸・海・空 <2003年>人と精神 <2004年>人と人

##### 主な文化プロジェクト

各年のテーマに合わせ、劇場公演、舞踊、音楽、会議、集会、展覧会、文学に関する催し、講演等を実施

##### 主な若者向けプログラム

- ・ユース・キャンプ
- ・各所の視察旅行